

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ
 コード番号 6633 URL <http://www.cgsys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部 部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

(氏名) 山口 修司
 (氏名) 大野 聡太郎

TEL 03-5793-8800

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	2,094	8.3	△74	—	△59	—	△62	—
21年12月期第3四半期	1,933	—	△473	—	△461	—	△927	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△5.56	—
21年12月期第3四半期	△80.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	3,855	2,023	51.6	180.01
21年12月期	4,450	2,160	47.9	184.64

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 1,988百万円 21年12月期 2,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年12月期	—	0.00	—		
22年12月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,171	27.4	24	—	38	—	26	—	2.40

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 11,982,579株 21年12月期 11,982,579株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 937,062株 21年12月期 432,462株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 11,160,115株 21年12月期3Q 11,550,117株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国からの需要増、また国内では政府主導の消費支援策が奏功し、企業収益、個人消費ともに緩やかな回復が見られました。しかし同時に、消費者物価の下落、急激な円高傾向、厳しい雇用情勢と、先行きが懸念されるような材料も多く、予断を許さない状況にあります。また世界経済については、中国をはじめ新興国が引き続き好調に推移し、また欧米諸国についても、ドイツ等ユーロ圏主要国および米国において緩やかなペースで改善いたしました。

当社グループの主要顧客である金型関連業においては、金型向け工作機械受注が平成22年1～9月累計で前年対比4割増（日本工作機械工業会「工作機械受注統計」）、また国内金型生産額においても平成22年1～8月累計で前年同期と同水準まで増加するなど（経済産業省「機械統計」）、回復の兆しが見られました。ただし、当社顧客の大半を占める、これら統計に反映されない小規模な金型メーカーにおいては、海外金型メーカーとの価格競争により製品単価の下落を余儀なくされるなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社は既存CAD/CAMパッケージ販売を中核に販売展開し、金型メーカーの生産性と品質を向上させる製品を提案するとともに、昨年来継続しております経費削減策に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高20億94百万円（前年同四半期比8.3%増）、営業損失74百万円（前年同四半期は4億73百万円の損失）、経常損失59百万円（前年同四半期は4億61百万円の損失）、四半期純損失62百万円（前年同四半期は9億27百万円の損失）となりました。

事業セグメント別の業績は以下のとおりです。

(CAD/CAMシステム事業)

CAD/CAMシステム事業においては、各支店で販売店と協同してイベントを開催し、販売店との協力体制を強化するとともに、潜在顧客へのCAD/CAM製品認知度向上を図るための施策を行いました。また研究開発分野では3次元CAMシステム「CAM-TOOL」の追加オプションである5軸マシンシミュレーション機能の開発を進めました。CAMオペレータが切削を行う前に5軸加工の複雑な動作をアニメーション表示で確認できることから、より正確な Cutterパスを短時間で生成することが可能となりました。

これらの結果、CAD/CAMシステム事業の売上高は18億70百万円、営業利益は2億8百万円となりました。

(金型製造事業)

北米で展開している金型製造事業においては、主要顧客である自動車メーカーの生産台数がリーマン・ショック前の平成20年の2割ほどに回復しており、金型製造事業の売上も前年同期と比較して大きく改善いたしました。

これらの結果、金型製造事業の売上高は2億23百万円、営業利益は16百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して5億95百万円減少し、38億55百万円となりました。主な増加要因は前払費用28百万円および保険積立金35百万円、主な減少要因は現金及び預金5億71百万円および未収入金85百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して4億59百万円減少し、18億31百万円となりました。主な増加要因は買掛金38百万円、賞与引当金35百万円および退職給付引当金39百万円、主な減少要因は未払金2億9百万円、前受金2億27百万円、短期借入金49百万円および長期借入金82百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して1億36百万円減少し、20億23百万円となりました。主な減少要因は四半期純損失62百万円および自己株式の取得79百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末と比較して5億70百万円減少し、19億95百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における営業活動による資金は2億91百万円の減少(前年同期は1億60百万円の減少)となりました。主な増加要因は、減価償却費47百万円、退職給付引当金の増加39百万円、主な減少要因は、前受金の減少2億14百万円、未払金の減少2億14百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における投資活動による資金は54百万円の減少(前年同期は39百万円の減少)となりました。主な減少要因は、敷金及び保証金の差入による支出17百万円、保険積立金の積立による支出35百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における財務活動による資金は2億19百万円の減少(前年同期は1億80百万円の増加)となりました。主な減少要因は、短期借入金の純減額20百万円、長期借入金の返済による支出1億12百万円、自己株式の取得による支出79百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成22年2月19日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社であったコンピュータエンジニアリング㈱および㈱グラフィックプロダクツを吸収合併しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,722	1,782,748
受取手形及び売掛金	343,728	345,196
有価証券	824,055	823,596
たな卸資産	35,377	47,110
その他	150,882	217,327
貸倒引当金	△18,506	△35,289
流動資産合計	2,547,260	3,180,689
固定資産		
有形固定資産	282,601	274,303
無形固定資産	23,206	25,305
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	488,408	500,057
その他	514,098	470,936
貸倒引当金	△548	△477
投資その他の資産合計	1,001,958	970,517
固定資産合計	1,307,766	1,270,126
資産合計	3,855,026	4,450,815
負債の部		
流動負債		
買掛金	88,290	49,784
短期借入金	460,040	509,690
未払法人税等	11,092	14,412
賞与引当金	35,697	—
前受金	339,925	567,284
その他	92,867	328,718
流動負債合計	1,027,912	1,469,889
固定負債		
長期借入金	259,070	341,600
退職給付引当金	364,142	325,125
役員退職慰労引当金	75,083	70,358
債務保証損失引当金	17,128	21,295
その他	87,874	62,088
固定負債合計	803,298	820,467
負債合計	1,831,211	2,290,357

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	2,166,441	2,166,441
利益剰余金	△451,439	△389,383
自己株式	△208,954	△129,227
株主資本合計	2,006,047	2,147,830
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△613	△2,223
為替換算調整勘定	△17,158	△12,998
評価・換算差額等合計	△17,771	△15,222
少数株主持分	35,540	27,850
純資産合計	2,023,815	2,160,458
負債純資産合計	3,855,026	4,450,815

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,933,911	2,094,615
売上原価	575,809	703,463
売上総利益	1,358,102	1,391,152
販売費及び一般管理費	1,831,340	1,466,072
営業損失(△)	△473,238	△74,920
営業外収益		
受取利息	3,526	3,406
受取配当金	934	922
不動産賃貸料	70,905	70,074
その他	14,495	19,104
営業外収益合計	89,862	93,508
営業外費用		
支払利息	10,706	8,561
不動産賃貸費用	58,294	58,140
その他	8,786	10,928
営業外費用合計	77,788	77,629
経常損失(△)	△461,163	△59,041
特別利益		
固定資産売却益	—	1,289
貸倒引当金戻入額	17,208	15,572
賞与引当金戻入額	23,720	—
債務保証損失引当金戻入額	4,166	4,166
その他	2,670	—
特別利益合計	47,766	21,028
特別損失		
固定資産売却損	1,701	—
固定資産除却損	33,742	33
減損損失	87,187	—
投資有価証券評価損	—	1,997
特別損失合計	122,631	2,031
税金等調整前四半期純損失(△)	△536,029	△40,044
法人税、住民税及び事業税	13,964	12,228
法人税等調整額	375,232	△660
法人税等合計	389,196	11,568
少数株主利益	2,632	10,443
四半期純損失(△)	△927,858	△62,056

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△536,029	△40,044
減価償却費	55,794	47,130
減損損失	87,187	—
のれん償却額	8,437	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,243	△16,712
賞与引当金の増減額(△は減少)	39,718	35,697
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33,715	39,016
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,538	4,725
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△4,166	△4,166
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,997
受取利息及び受取配当金	△4,461	△4,329
支払利息	10,706	8,561
受取賃貸料	—	△70,074
その他の営業外損益(△は益)	—	47,210
固定資産除売却損益(△は益)	35,443	△1,255
売上債権の増減額(△は増加)	311,569	△793
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,577	8,369
仕入債務の増減額(△は減少)	1,204	40,271
前受金の増減額(△は減少)	△54,993	△214,427
未払金の増減額(△は減少)	—	△214,718
その他	△163,440	40,968
小計	△173,440	△292,573
利息及び配当金の受取額	4,433	4,438
利息の支払額	△10,911	△9,436
賃貸料の受取額	—	70,074
法人税等の支払額	△18,649	△13,825
法人税等の還付額	37,584	—
その他	—	△50,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	△160,983	△291,474

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△201,504	—
定期預金の払戻による収入	206,006	—
有形固定資産の取得による支出	△2,631	△8,207
有形固定資産の売却による収入	714	1,289
無形固定資産の取得による支出	△11,133	△849
投資有価証券の売却による収入	2,268	2,359
短期貸付けによる支出	△950	—
短期貸付金の回収による収入	474	—
長期貸付けによる支出	△1,000	—
長期貸付金の回収による収入	3,251	1,605
敷金及び保証金の差入による支出	△10,477	△17,251
敷金及び保証金の回収による収入	12,707	2,500
保険積立金の積立による支出	△37,193	△35,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,470	△54,153
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	20,000	△20,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△170,550	△112,180
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,772	△6,658
自己株式の取得による支出	—	△79,726
配当金の支払額	△57,935	△350
少数株主への配当金の支払額	△5,420	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,322	△219,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,511	△5,833
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,619	△570,566
現金及び現金同等物の期首残高	2,929,257	2,566,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,911,637	1,995,778

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	CAD/CAM システム等 (千円)	金型製造 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,742,777	191,134	1,933,911	—	1,933,911
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,742,777	191,134	1,933,911	—	1,933,911
営業利益又は営業損失(△)	△405,736	9,586	△396,150	(77,088)	△473,238

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主な製品

(1) CAD/CAMシステム等……………CAD/CAM製品、保守契約サービス、開発サービス

(2) 金型製造……………金型製造請負事業

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	CAD/CAM システム等 (千円)	金型製造 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,870,802	223,813	2,094,615	—	2,094,615
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,870,802	223,813	2,094,615	—	2,094,615
営業利益又は営業損失(△)	208,742	16,035	224,778	(299,699)	△74,920

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主な製品

(1) CAD/CAMシステム等……………CAD/CAM製品、保守契約サービス、開発サービス

(2) 金型製造……………金型製造請負事業

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,640,646	240,523	52,742	1,933,911	—	1,933,911
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	46,230	—	706	46,936	(46,936)	—
計	1,686,876	240,523	53,448	1,980,848	(46,936)	1,933,911
営業利益又は 営業損失(△)	△398,322	7,771	△5,598	△396,150	(77,088)	△473,238

(注) 1 地域は地理的近接度によっております。

2 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北 米……米国、カナダ

アジア……タイ

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,759,817	262,238	72,559	2,094,615	—	2,094,615
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,924	—	138	51,062	(51,062)	—
計	1,810,741	262,238	72,697	2,145,677	(51,062)	2,094,615
営業利益又は 営業損失(△)	207,353	9,033	8,391	224,778	(299,699)	△74,920

(注) 1 地域は地理的近接度によっております。

2 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北 米……米国、カナダ

アジア……タイ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	241,543	131,515	1,048	374,107
II 連結売上高（千円）	—	—	—	1,933,911
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	12.5	6.8	0.1	19.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、所在地別セグメント情報（注）1に同じであります。
 2 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。
 北 米……米国、カナダ
 アジア……タイ、中国、韓国
 その他……チェコ、メキシコ
 3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（但し連結会社間の内部売上高は除く）であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	263,133	202,091	601	465,826
II 連結売上高（千円）	—	—	—	2,094,615
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	12.6	9.6	0.0	22.2

- (注) 1 国又は地域の区分は、所在地別セグメント情報（注）1に同じであります。
 2 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。
 北 米……米国、カナダ
 アジア……タイ、中国、韓国
 その他……チェコ、ポーランド、メキシコ
 3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（但し連結会社間の内部売上高は除く）であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。